



志をもって 未来を切り拓け

< 貴く精神 >

自学
温言温動

私の答辞

～3年生国語の授業から～

卒業した3年生の2月ごろから、国語の授業では「私の答辞」として、中学校3年間で振り返る作文づくりを行っていました。その作文の中から、どうしても1・2年生の皆さんに紹介したいものがあり、本人の了承を得て、載せることになりました。この進級を迎えた節目の時期に、この「私の答辞」を読みながら、自分自身と照らし合わせてほしいと思います。そして、本当の仲間との関わりについて考えてほしいと思います。

「綺麗な色も、汚い色も」

3年女子

人はなぜ、争うのでしょうか。ニュースで殺人や傷害事件について、目にしない日はありません。また、社会でも道徳でも教科書を開けば今起きている戦争のこと、同世代の子供が銃をもって戦地に赴く様子が書かれています。私はテレビや新聞などで殺人事件や戦争の記事を目にすると、心が痛くなります。もっと話し合っていればそんなことにはならなかったのではないかと、誰にも救いを求められなかったのか、「嫌い」という気持ちが殺意に変わるまで、何もできなかったのか。

私は、この世界から争いをなくす方法を考え、そして見つけました。それはあまりにもシンプルで、だけれどもみんなそれができないがゆえに、すれ違いを生んでしまいます。私が見つけた答えは、「相手の気持ちを考え、思いやること」です。「あなたはそう思うんだね。でも私はこう思うんだ」「あなたにはそんな事情があったんだね。そんなことも知らずにひどいことを言ってしまうってごめんなさい」。相手を傷つけてしまう前に、そうやって言えればいいのですが、自分の意見が絶対に正しいんだという感情的な思い込みによって、「考える」「思いやる」という行動が取れ

なくなります。何度も道徳の授業で、「相手の気持ちを考えること」「思いやること」が大切だと学んできましたが、私もまた、それができずに相手を傷つけてしまったことがありました。

私には、Aさんという大切な友達がいます。しかしAさんは学校を休むことも多く、登校できたとしても、早退や遅刻を繰り返していました。Aさんはいつも私に優しく挨拶や会話をしてくれて、私もAさんといるときは自分を着飾ることなく、本音を話すことができました。朝、Aさんのロッカーにカバンが入っておらず、ホワイトボードの欠席の欄にネームプレートが貼ってあるのを見ると、「今日も来ないのか」と、心細い気持ちになったこともありました。

しかし私はAさんに対し、プラスの気持ちだけをもっていただけではありません。本当に、こんなことを思ってしまう自分は最低だとわかっています。けれど、学校になかなか来ないAさんが登校したときに、みんなに特別扱いをされていて、「学校に来ただけで偉いよ」と励まされていること、常に誰かの助けを必要としていて、なかなか一人で行動しようとしないうちに、私は苛立ちを覚えてしまうこともありました。「自分だってみんなだって、嫌いな教科がある日でも、前日に黒歴史を作ってしまった日でも、行きたくないと思っても頑張って登校しているのに、Aさんは好きなときに休んでいるように見えて、うらやましい」と長いこと思っていました。私はAさんと関わると、楽しさを感じると同時にモヤモヤした気持ちを抱えてしまい、また、そんな醜い気持ちを抱いてしまう自分も嫌になってしまうという悪循環を生んでしまいました。そう感じてしまうのは、ただ単に自分の心が狭く、自分と違う考え方を受け入れられないという幼稚な価値観を持っていることにありました。それには自分でも気づいていて、Aさんと関わるときには寛大な心をもとう、どんな意見でも受け入れよう、と思っている、その心構えは全く役に立って

くれませんでした。

ある日の授業中、Aさんが私に「早退しようかな」「もう無理」「帰りたい」と何度も声をかけてきました。私は、嫌なことから逃げようとしているように見えるAさんの態度に、これまで蓄積していた気持ちを堪え切れずに、「何言ってるの。そんなすぐ逃げてたら将来何もできないよ。他人に頼ってばかりじゃなくて自分でなんとかしてよ。そういうのは私以外の人に言って。」と、Aさんに直接、強い口調で言ってしまいました。その直後、自分が怖くなりました。そんな酷いことをAさんに直接言ってしまったことではなく、Aさんにそんな酷いことを言ったのにも関わらず、自分が全く後悔も反省もしていなかったことに驚いたのです。「きついことを言ってしまうて申し訳ない」なんて思う気持ちは微塵もありませんでした。そうやって、「自分が絶対正しい」「私は悪くない」、そう正当化している自分に恐怖を覚えました。

しかし、私にも人間の心はあったらしく、家に帰ってから、Aさんに酷いことを言ってしまったという自覚が芽生えてきました。「謝りたい」。そう思ったとき、私は気づきました。自分がいかに愚かだったか、いかに自分がAさんの気持ちを考えていなかったかということに。きっとAさんは不安でいっぱいだったのだと思います。転校し、一年間学校に行かなかった期間があった中で、再び学校に足を向けること、あまり知らないクラスメイトに囲まれて過ごすこと、授業の内容が理解できずに取り残されてしまうこと。

そう考えるとAさんの行動の意味は、全て「不安だから」「自信がないから」という理由で説明がつきます。一人だと不安だから、誰かと一緒にいたい。自分に自信がないから、先生に「体調が悪い」と言えない。Aさんはそんな、いくつもの「不安」を乗り越えて、勇気を振り絞って学校に来ているのだと思います。その勇気はきっと私とは比べ物にならない程大きい物なのではないでしょうか。あくまでこれは私の空想ですが、そのときに初めてAさんの本心を知ったような気がしました。

また、私もそのときに初めて、本当の意味で「相手の立場に立って考える」ことをしました。私はその出来事があったから、モノクロの世界に色がつくように、ぼやけていた

世界がクリアになるように、見える景色が変わった気がします。相手の置かれている立場や背景を考えることで、相手に寛容になれたり、人を傷つけることが少なくなったり、冷静に物事を俯瞰できるようになりました。

当然のことながら、私たちは皆、異なる価値観や考え方をもっています。全く同じ人間なんて、全世界を探してもいません。今ではその「違い」が「個性」という言葉で無造作に束ねられています。私は、「個性を認め合おう」という言葉は理想郷のようなものだと思っていました。なぜなら、人と考え方、話し方、服装などが違いすぎると「浮いている」「空気が読めない」と言われ、個人ではなく集団に属することが暗黙の了解のようになっていたからです。また、「個性的」という言葉を「人と違うからダメなんだ」と悪い方向に受けとってしまう人もいます。「個性を大切に」「これからは多様性の社会だ」といっても、周りに合わせてしまい、自分らしくいるのが難しい現状はなんだか矛盾しているように感じます。「違いがない」というのはイコール協調性があるということですが、それをまた言い換えると一人になるのがこわい、ともいえます。結局人は、人と違うことで争いになるのが怖くて、人と同じであろうとするのではないか、それが個性を出せないことにつながるのではないかと感じていました。

けれど今は違います。個性を認め合うことは、決して机上の空論なんかではありません。相手の全てを受け入れる必要はなくて、「相手の立場に立って、相手を思いやる」ことができれば、個性を認め合うこと、ひいては争いの撲滅につながると思います。

最後になりますが、私が大切にしている小説に、森絵都さんの『カラフル』というものがあります。その小説には「この世界があまりにもカラフルだから、ぼくらはいつも迷ってる。どれがほんとの色だかわからなくて。どれが自分の色だかわからなくて」という言葉が出てきます。この言葉はきっと、「自分にも他人にも、誰にだって長所もあれば欠点もあるし、自分でも知らない自分の一面がある。人はみんな一色ではなくて、綺麗な色も汚い色もち合わせている。でも、それを全部ひっくるめてできているのが自分なんだ。」と教えてくれているのだと思います。この言葉にもある通り、世界は色で満ちています。

闇のように黒い色もあれば、目が眩むほど白い色もあります。私たちはみな、そんなカラフルな世界を形作る一人です。誰かのもつ白色が、誰かのもつ黒色を和らげたり、誰かのもつ赤色と、誰かのもつ青色で、新しい色が生まれたりします。だから、どんな色もこの世界には必要な色なのです。

そう考えると、相手を受け入れる寛容さが、自分の心の中にポッと宿ったような気がします。私はこれから、自分のことも相手のことも、全てを受け入れることはできなくても「相手の立場に立って考え、思いやること」を常に心に留めていきたいです。それが、一ミリでも世界の平和に近づいていると信じて。

この生徒は、「1・2年生の子に読んでもらえるのなら」と、学校コミスクだよりに載せることを承知してくれました。人との関わりについて、深く考えさせられる「私の答辞」ですので、ぜひ読んでほしいと思います。また、感想を聞かせてくれるととてもうれしいです。



3月16日（月）に岐阜県で桜の開花のニュースが流れました。次の日の17日（火）に学校のまわりの桜の木を見ていると、桜が開花していました。今年は例年よりも早い開花ですが、1・2年生の進級、そして卒業した3年生の新たなステージで歩いていく姿を祝ってくれるように、これからどんどん咲いていくことでしょう。

【4月のおもな予定】

- 7日（火） 前期始業式、入学式
- 8日（水） 1T集会、命を守る訓練
- 9日（木） 身体測定
- 15日（水） 内科検診（3年、さわやか）
- 16日（木） 対面式、生徒総会
- 17日（金） 地区生徒会
- 22日（水） 内科検診（2年）
3年全国学力・学習状況調査
- 23日（木） 3年全国学力・学習状況調査
- 24日（金） 内科検診（1年）
- 28日（火） 授業参観
3年全国学力・学習状況調査
- 30日（水） 3年実力テスト①

【4/7(火)の朝の動き】

- 8：00クラス発表
- ・新2年生は被服室窓、新3年生は体育館北下足箱で自分の番号を確認する。
- ・生徒昇降口から上靴に履き替え、カバンをもったまま体育館へ入場する。
- ・自分の席の下に鞆を置き、静かに待つ。
- 8：15体育館入場完了
- 8：20～
- ・着任式
- ・始業式